

会社情報

【会社概要】

- ・ 関東で金属部品製造をメインとする製造業
- ・ 役員3名、社員40名、パート15名
- ・ 当期首より役員が2名増えている。
- ・ 社長は「売上アップ」を常に考えており、その為の投資は積極的にしていく方針だが、財務に対してはあまり考えていない。
- ・ コロナの影響は受けておらず、昨年の一時的な業績低迷は一部得意先との受注量が一時的に減ったため。現在ではもとの受注量に戻っている。

【前提条件】

- ・ 当問題における法人税等の税率は全て35%として計算する事。

【その他の事項】 ※問題とは直接関係ありません

- ・ 昨年、M&Aにより同業種の中小企業を購入した。
子会社株式があるのはその為である。

上級問題

問1. 社長より「売上アップの施策として、200百万円の新設備(機械装置)を導入しようかと考えている。この設備により生産能力が上がり、その結果、一部既存得意先への受注量は売上ベースで合計10百万円/月増加する見込みだが、この投資はしても問題ないだろうか？」と相談があった。

- 1. この相談を受け、社長へは以下の内容をヒアリング済みである。**
- 2. 補助資料①を使って、1年後の手元資金がどうなるか計算して下さい。**
- 3. 2を踏まえて、
①投資は可能か、②現状の問題点は何か、③対策出来ることは何かをアドバイスして下さい。**

問題の続きは次ページ

問1の続き

【社長へヒアリングした内容】

- ①その売上は翌年以降も続くのか？ 「続く見込みである」
- ②既存商品の売上アップなのか？ 「既存商品にかかるものである」
- ③資金調達方法は？ 「7年返済で銀行から満額借りる」
- ④新設備による製品の粗利益率は？ 「40%は確保できる」
- ⑤材料等以外で増加する経費は？ 「10.0百万円程は増加見込」

※新設備導入後の来期の税引前利益見込は70.0百万円となる。

※新設備導入後の年間の減価償却費は55.0百万円である。

※新設備導入前の単月返済額はP.12から読み取る事。

問2. 社長より、「社員が安心して働ける会社を目指すために、今後も常に売上アップを目指していく。その為に、毎期設備投資をして売上アップを図る5カ年計画(中期事業計画)を作成したのだが、これを見てアドバイスを貰えないだろうか。」と相談があった。社長が作成した中期事業計画表(補助資料②)をもとにして、

1. 補助資料②-2を使って、5年後(第20期末)のB/Sがどのように変化するかを計算してみてください。
2. 1で計算した5年後のB/Sを受けて、「社員が安心して働ける会社」を目指す社長に対して、あなただったらどんなアドバイスをしますか？